大和映像サロン ニュースレター

Yamato Eizo

令和7年 10月号 No.534　2025年（令和7年）10月1日発行

2025年9月勉強会報告

9月11日（木）14時00分から、勉強会をシリウス 607号室にて開催しました。

出席者　片野、佐藤、嶋﨑、関、土屋、野田、樋口、藤井、三浦、山本

以上　出席者　10名

欠席者 2名、通信会員1名

今回の勉強会は、10月に行われる「大和映像まつり」の準備会として、以下を実施しました。

1）招待はがきの印刷と、各会員への配布
2）手渡し招待状の印刷と配布
3）発表作品の修正版の確認
4）通常の作品の上映

会長報告・連絡事項

1）「大和映像まつり」の会場の使用について、会場の管理者との打ち合わせを9月3日（水）に行いました。
その結果、当日の開場を13:30、開映を14:00となります。
従来より開場が15分遅く、開映は20分遅くなります。

2）「大和映像まつり」も参加している文化プロジェクト「YAMATO ART100」のパンフレットを配布しました。

以下の名前をクックするとご覧いただけます

YAMATO ART 100

「大和映像まつり」 発表作品の内容確認

1）「三浦漁港「海の駅」を訪ねて」　8:00　片野　勝也
前回の確認の映像に比べ、かなり改善されて分かりやすくなったとの評価でしたが、ストーリの構成の再考や、BGMと背景音のバランスなどもう少し見直していただくようお願いしました。

2）「ねんねこ祭り」　10:00　奥根　公平

昨年12月に5年ぶりに行われたという和歌山県串本の「ねんねこ祭り」は、五穀豊穣（ほうじょう）や子孫繁栄などを願うお祭りだそうです。

早朝、 頭に”おひつ”を載せたご飯持ち、巫女を先頭に遥拝所まで一歩一歩ゆっくり進む「朝日遥拝行列」。

子どもらによる「子守神事」、５年ぶりに復活したという「巫女の舞」があり、多くの見物人でにぎわったようです。

「みかんを食おうか、麹を食おうか、酒を飲もうか」と言い合いながら、宮司と童子がミカンを”ござ”にくるんで丸め、肩に担いで踊る「みかん問答」。

また、乳房の形をした袋を担いで、「ねーんねこ、ねーんねこ、おーろろーんよー」と歌いながら踊る子供の姿に観客は大笑い。

子供が健やかに育ってほしいという願いを込めた踊りのようです。

3）「遠い記憶 海峡の街 下関」　嶋﨑　哲

発表作品の修正版の確認。

内容は8月号のニュースレターを参照ください。

4）「アンコールワット旅行記」　11:00　野田　和男

カメラ：キヤノン8mmカメラ

2012年にカンボジアを訪れた時の映像を、アンコールワットを中心にまとめた作品。

アンコールワットは世界最大級の規模を誇るヒンズー教の寺院で、12世紀に建設されたと言われています。

ヒンズー教はインドで成立した宗教ですが、多くの宗教の要素が取り入れられていて、仏教もその一つだったようです。

1世紀ころには交易を通じてカンボジアに、この宗教が伝わります。

その関係もあって、仏教寺院にもなっています。

その壮大さや、彫刻の精巧さは圧倒されると言われいて、壮大な一端を垣間見ることができた作品でした。

2025年9月定例会(「大和映像まつり」準備会）報告

9月25日（木）14時00分からシリウス 606号室にて、9月の定例会を行いました。

出席者　佐藤、嶋﨑、関、土屋、野田、樋口、
　　　　三浦、山本

以上　出席者　8名
欠席者4名、通信会員1名

9月の定例会は、来月にせまった大和映像の作品発表会「大和映像まつり」手順の確認と準備についての話し合いを中心に進めました。

「大和映像まつり」の準備と手順

1）上映作品について、制作の裏話・苦労話をまとめた簡単なメモを作成し、司会の佐藤会員まで提出することとしました。　司会者が作品紹介のネタにします。
　全員、次回10月9日（木）のリハーサル時に提出をお願いします。

2）当日までのスケジュールと手順
　10月9日（木）14:00 ～ 17:00 リハーサル
　10月15日（水）「大和映像まつり」当日
　　・12:00 集合（606号室）
　　　各自昼食を済ませて集合してください
　　　進行手順の再確認、配布物、他荷物の運搬準備
　　・13:00 会場へ移動後、開場準備
　　　・上映準備（会場設備担当、土屋会長、嶋﨑）
　　　・司会準備（音響・マイク、佐藤）
　　　・会場受付準備（三浦副会長、他会員）
　　　・開場は13:30（それまで施錠・厳守）
　　　　入り口の立て看にその旨を掲示する
　　　・開場まで、通路に整列するよう案内する
　　・13:30 開場
　　・14:00 開映
　　・16:00 終映（後片付け）

3）その他
・各作品の上映後の作者紹介は行わないことに決定しました。
・自分の作品を会場の大型スクリーンで見たい方は、会員席を会場の後部に確保しますので、そちらで交代して鑑賞してください。
・17:30 会員懇親会（予定）
　（三浦副会長：次回までに会場等調整
　　会費目安：¥5,000.-/人 ）

会長報告・連絡事項

1）大和市の令和7年度の文化芸術顕彰の「文化芸術振興賞」を当サロンに授与することが決定したという通知が文化振興課よりありました。
　11月3日（月）（文化の日）10:30より表彰式がありますので、全員の出席をお願いします。

2）「大和映像まつり」について、大和市教育委員会の後援が決定しました（名義使用許諾書が届きました）。
また、招待案内を大和市長に届けました（秘書課）。

3）来年2026年2月14日（土）に開催される「生涯学習センターまつり」の実行委員会が開かれ、その発表部会長に三浦副会長の就任が決まりました。
　当サロンの発表は2月14日（土）14:00 ～ 15:50です。

4）来年の「大和映像まつり」の会場予約を10月1日に行います。

5）10月から3か月間の活動計画表を配布しました。

6）会員情報
・片野会員が足を骨折し手術が必要になったため、1ヶ月程度欠席するとの連絡が入りました。
　1日も早い回復をお祈りします。
・長谷川会員より欠席の電話があり、近況の確認ができました。
　声の調子もいつも通りで一安心。
　ただ長時間で歩くには、もう少し時間がかかるようです。

上映会「大和映像まつり」発表作品の内容再確認

手直しがあった2作品を上映し内容を再確認しました。

1）「三浦漁港 海の駅 うらりマルシェを訪ねて」
11:00　片野　勝也

前回紹介した作品の修正版。

内容については、9月号のニュースレターの記事を参照ください（4/5ページ）。

2）「いずみの森の四季」　10:00　土屋　翁三

8月に発表した試作作品を登場した詩吟の会の会長さんに見てもらったところ、詩吟をもう一度歌い直したいとの要望が出て、再録音を行うことになったとのことで、リハーサルの映像を組み込んで内容を確認しました。

吟詠会の会員の方々の熱意に、我々も応えなければなりません。

3）「富士の芝桜」（通常作品の上映）　7:00
樋口　和子 2011年作品

終活として、過去の作品をBlu-rayに整理中とのことで、それがうまく書き込まれているかどうかの確認として、その中の1点を上映。

上映作品は、とてもよくできているとの評価で、来年の「大和映像まつり」の候補として推奨されるほどの出来栄えでした。

（作品の写真は撮影に失敗しました。
申し訳ありません。　編集子2014）

あ と が き

10月になりました。

いよいよ私たちの作品発表会「大和映像まつり」です。

秋刀魚、食べたい！

編集子2024

10月の開催

勉 強 会　10月9日（木）14:00 -　606号室
「大和映像まつり」リハーサル

「大和映像まつり」10月15日（水）606号室
12:00 集合

通常例会（映像まつり反省会）　10月23日（木）
14:00 -　606号室

大和映像サロン

発行・事務局 土屋 翁三
〒242―0012 大和市深見東1―1―12　TEL 046―263―6623 FAX 046―264―7350